

お知らせ

2018 年度 圓母平愛奨学生の募集について

2017 年度以降の変更内容が大きく 2 点あります。

1. 2016 年度までは申請時の立場で受給していましたが、現在は受給時、つまり2018年度の立場で受給するようになっています。

例) 現中学三年生は高校生枠、現高校三年生は大学生枠で受給するようになる。

2. 申請は郵送ではなく、全てWeb 上で行うようになっています。

【対象】 日本の学生 (2018 年度における高校生・大学生・大学院生) 計250 名

1. 高校生枠： 100 名

A) 学力優秀者：30名学業成績において優秀な者

B) 活動優良者：20名教会各種活動において優良な者

C) 福祉対象者：50名特に家庭が生活に困窮する者

2. 大学生枠： 150 名

A) 学力優秀者：30名学業成績において優秀な者

B) 活動優良者：20名教会各種活動において優良な者

C) 福祉対象者：100 名特に家庭が生活に困窮する者

【奨学金額】 ※円での支給となります。

高校生枠： 一律 - 20 万円

大学生枠： 学力優秀 - 50 万円

活動優良 - 30 万円

福祉対象 - 39 万円

※詳細は総務まで



お知らせ

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

■お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。

■東埼玉教区12月度出発式

日時:12月7日(木)10:30~

場所:浦和家庭教会

※鄭 日権地区長をお迎えしての出発式になります。

■嫁さん弁当

日時:12月12日(火)

今月は火曜日になります。

■方 相逸 局長を迎えての特別集会

日時:12月13日(水)10:30~

場所:さいたま市文化センター小ホール

■伝道三日路程

日時:12月19日(火)~21日(木)

■ハートフルセミナー

日時:12月19日(火)10:30~

場所:プラザウエスト

■浦和家庭教会クリスマス礼拝

日時:12月24日(日)10:30~

場所:浦和家庭教会

■今後の書写フェスティバル予定

12月10日(日) プラザウエスト多目的ルーム

1月14日(日) プラザウエスト多目的ルーム

2月18日(日) プラザウエスト多目的ルーム

3月18日(日) プラザウエスト多目的ルーム

清平修練会案内

■清平1泊2日修練会(帰国は翌日になります)

12月 2-3 8-9 **16-17** 22-23 30-31

1月 6-7 12-13 **20-21** 26-27

2月 3-4 9-10 **19-21** (御聖誕記念行事)

(太字は先祖祝福式)

■霊肉界家庭出発修練会 1/6-7 1/12-13 6/8-9 6/22-23

■霊肉界マッチング修練会 3/9-10 3/23-24 7/13-14 7/27-28

■霊肉界祝福式 4/21-22 7/21-22

■聖和6周年記念行事、1世未婚霊人祝福式 8/25-27

週報

【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



宗教 世界平和統一家庭連合
FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION

浦和家庭教会

教区長：安 榮燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel : 048-886-8774 / Fax : 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com
HP: http://ucurawa.net/



日曜礼拝式次第



説教者：安 榮變教区長

司会者：

伴奏者：

開	会		
黙	禱	全体
※聖	歌 聖歌 39番	全体
※敬	拝	全体
※家	庭 盟 誓 4番	全体
代	表 祈 禱	
聖	歌	聖歌隊
み	言 訓 読	全体
説	教	人生いかに生きるべきか	執礼者
		先祖への手紙奉読、祈願書奉納	
聖	歌 聖歌 2番	全体
感	謝 祈 禱	
お	知 ら せ	司会者
※祝	禱	執礼者
※全	体 祈 禱	全体
閉	会		

※起立して進行します

今週のみ言

病気にかかって死にそうになれば、昏睡状態になります。死んだのか死んでいないのか分かりません。そこから、自分が行って暮らすべき場所のすべてのもを見るようになります。自分が行って暮らす場所にいる同志たちが来て、自分を歓迎してくれ、また、果てなく広がる豪華絢爛な天国を見て、「私も早く行かなければならない」と思います。それで、行ってみると死ぬのです。

少しずつ少しずつ良いところに向かって、一次、二次、三次の門を通過するようになれば、あの世に入っていき、刈り取られるのです。死は、落胆したり、気落ちしたりすることではありません。落ちるのではなく跳躍するようになります。昇華するのです。ですから、死に対する恐怖をもってはいけません。死は、このような自然の循環法度によって訪れます。もっと良い世界に移してもらうための手続きです。

地獄というところは、一度はまれば脱け出すのが難しいところです。それでも、皆さんは、自分の父、母、そして親戚が地獄に行くことを実感できません。ただ「どうにかなるだろう」と思って、それで終わりです。しかし、愛する父母が本当に地獄に行くと考えてみてください。この世の監獄に入るだけでも、泣いたりわめいたりしながら、ありとあらゆることをして引っ張り出そうとするのが人情であるならば、まして天情によって結ばれた息子、娘が、自らの父母と親戚、兄弟姉妹が永遠に出てこれない監獄に行くことを知れば、そのようなことを考えるでしょうか。皆さんは、まだ何も知りません。地獄があるのか、ないのか、あると思っていてもどのようなものかを知らずにいます。確信がなく、ぼんやりとしているでしょう。しかし、死んでみれば分かるのです。死んでみれば一度に分かりますが、その時ではもう遅いのです。

再臨の一日が来れば、天国でない楽園と地獄のどん底に、新しい理想圏をつくっていくのです。地獄のどん底でカインとアベルを探して、新しい神様の家庭圏を形成するのです。新しい神様の氏族圏、新しい神様の民族圏、新しい神様の国家圏、新しい神様の世界圏を形成して、地上にいる人たちをすべて蕩滅復帰しなければなりません。

カイン・アベルの問題を蕩滅復帰して、すべてを吸収、消化し、統一した世界を地上で編成しなければ、天国を築こうとする神様の希望を解怨成就する道はありません。それでイエス様も、「あなたが地上でつなぐことは、天でもつなぐがれ、あなたが地上で解くことは天でも解かれるであろう」(マタイ一六・一九)と言いました。地で天国を築かなければ、天上世界に天国が生じません。地上に天国の主権を立てなければ、霊界で善の主権を回復することができないという、とてつもない事情が内在しているのです。

天聖經 第7編 地上生活と霊界